



「特別支援教育への理解の深まりと着実な歩みへ」

校長 渡部 孝男

令和5年度も残すところあと1ヶ月となりました。今年度は5月に新型コロナウイルス感染症の予防措置が2類から5類に変更され、それまで制限されていた学校行事や各種学習活動がコロナ前のように実施できるようになりました。特に校外に出かけての学習や学習発表会、他校との交流会など、これまで自粛していた学習活動をおよそ4年ぶりに実施することができ、子どもたちの学びや体験の幅が広がったことはなによりうれしいことです。一方で、このコロナ禍の中で一気に進んだ学校のICT化により、コロナ前にはなかった可能性も広がっております。自粛期間で行われたリモートによる授業形態は現在、他校との交流及び共同学習の実施にそのノウハウが生かされております。また今後はVRやテレプレゼンスロボットを活用した疑似世界での体験学習なども視野に入れ、さらなるICTの有効活用を進めてまいります。本校としてはこれからも子どもたちの自立と社会参加のために様々な体験を大切に、子どもたち一人一人の持つ可能性を見いだしながら、個に応じた教育を実践していきたいと考えております。

さて、今年度も「地域支援センターよつの葉」では多くの方々からのご理解とご協力を得て活動してまいりました。活動に際し最も大切にしていることは子どもたちの「個」を一番に理解するということです。来校相談されたお子様やご家族の方からの思いを受け止めながら個々の教育的ニーズを理解し、どう支援していくかを検討してまいります。

また「出かける支援」では幼稚園、保育園や小中学校へ出向いて教育相談・支援活動を行いました。今年度は新たに高等学校からの要請に応じて、教育相談・支援活動を行うことができました。こうした特別支援学校が持つ「地域支援センター」の機能については、もっと多くの関係者、特に高校の先生方に知っていただきたいと思っております。私の経験からの話になってしまいますが、これまで高校での教員生活で出会ってきた子どもたちについて、特別支援教育の視点を持ち合わせていればもっとその子たちに応じた教育支援が可能だったのではないかと考えることがあります。中には学校に不応で通信制の高校へ転学していった生徒もいましたが、当時の生徒の顔を思い浮かべ、ひょっとして支援の仕方をもっと工夫できていたら転学せずに卒業できたのではないかと考えてしまうこともあります。

少しずつ特別支援教育の理解が進み、特性を持つ子どもたちへの個に応じた教育が進歩しています。今後さらに理解が進み、真のインクルーシブ教育に発展していけるように、本校の「地域支援センターよつの葉」も丁寧な教育相談・支援活動を意識しながら取組を進めてまいります。皆様方には今後とも当センターの活動にご理解とご協力をいただければ幸いに思います。



教育相談報告（1月現在）



◎来校相談 48件（本校に来ていただく行う相談）

・あそびば参加・・・29件 ・学校見学、教育相談・・・16件 ・福祉との連携・・・3件

◎出かける支援 10件（本校職員が幼稚園、保育園、小中学校、高等学校などへ出向いて行う相談）

・幼稚園、保育園、療育機関等での教育相談・・・5件 ・研修協力等・・・1件

・小中学校、高等学校での教育相談・・・4件

平支援学校では、発達の気になるお子様、障がいのあるお子様への支援・相談を行っています。身体の動きの不自由さや運動面の配慮の仕方、補助具の使い方などを知りたい、就学や進路について相談したいなど、ご心配なことがありましたら、お気軽にお電話ください。本学に入学・転学する/しないにかかわらず、相談を受付けています。

（0246-24-2501 平支援学校 教頭まで）

早期教育相談 『あ・そ・び・ば』

本校では、心身の発達が気になる就学前のお子さんを対象とした遊びの広場「あ・そ・び・ば」を開催しています。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、1学期に3回、2学期に3回、3学期に1回開催しました。12月にはサンタさんと一緒に歌を歌ったり、プレゼントをもらったりしました。1月には絵本の読み聞かせや、教員が扮した獅子舞と触れ合いました。サンタさんや獅子舞にはじめは驚いていた子ども達でしたが、一緒に活動する中で笑顔になったり、手を伸ばしたりして楽しむ姿も見ることができました。来年度も開催予定ですので、ぜひご参加ください!!!



★交流学習紹介★

今年度、地域の学校と行った交流学習について紹介します。今回、紹介している学校以外にも、富岡支援学校中学部、いわき支援学校高等部、ふたば未来学園高等学校とも交流学習を行いました。

小学部

中学部

高等部



<平第四小学校との交流>

学年ごとに交流学習を行いました。今年は約4年ぶりに直接会って交流することができました。自己紹介やレクリエーションなどを通して友達との関わりを楽しみました。



<赤井中学校との交流>

中学部1ブロックでは、5年ぶりに赤井中学校の生徒と2回の交流学習を行いました。障がい者スポーツ『ボッチャ』を通して、生徒同士で互いの意見を聞きながら作戦を考えたり、試合の際は応援し合ったりする姿が見られました。



<いわき総合高等学校との交流>

1年に2回交流学習を行い、バリアフリーとユニバーサルデザインなどを学び、公共の場でのエレベーターの設置や、お店の陳列についてなど、様々な改善策を一緒に考えました。